

アジア情報室の使い方 (中国編)

① アジア情報室について



国立国会図書館関西館アジア情報室

内容

① アジア情報室について

国立国会図書館 遠隔利用と来館利用 利用者登録

② 中国関係資料の探し方

NDLオンライン（検索、遠隔複写、デジタル化資料）

③ 中国語の電子ジャーナル

④ 調査・研究のヒントになるツール

調べ案内 AsiaLinks



① アジア情報室について



国立国会図書館（NDL）とは

- 関西館（京都府精華町）
アジア言語資料
外国雑誌、科学技術資料



- ・ 国内の出版物を網羅的に収集（納本制度）
- ・ 外国資料も選択して収集
- ・ 国内最大の蔵書数
- ・ 18歳以上なら利用可能

- 東京本館（千代田区永田町）
国内刊行物・欧米図書
- 国際子ども図書館（上野公園）
児童書・教科書



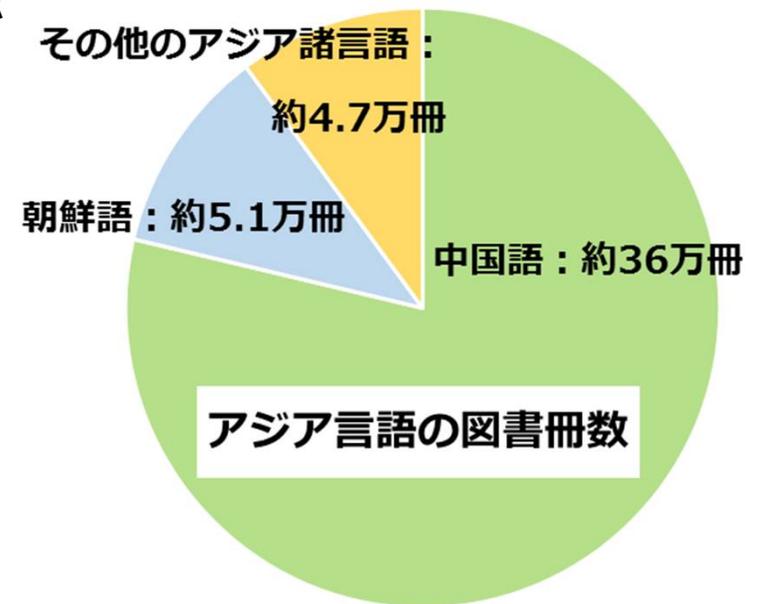
関西館の所蔵資料

関西館

- 日本語図書(参考図書、アジア関係を含む複本)
- よく使われる日本語雑誌・新聞、欧文学術雑誌
- 国内博士論文、科学技術資料
- 東京本館資料の関西館への取寄せも(一部資料)

アジア情報室

- アジア諸国の資料を収集・提供
- 豊富な中国語資料
 - 図書 約36万冊
 - 雑誌 約2,000タイトル(刊行中)
 - 新聞 78タイトル(刊行中)
 - データベース CNKI(雑誌・新聞の全分野)や人民日報等



遠隔利用と来館利用

いろいろ資料があるのは分かった！でも、関西館は遠いし・・・

まずは 遠隔利用

コピーの取寄せ（個人申込み） 有料

調査・研究のヒントを手に入れる

大学・公共図書館経由 資料・コピーの取寄せ 有料
レファレンス(調べものの相談)

やっぱり 来館利用 **コピー代のみ有料**

豊富な資料を見ながら調査したい（特に新聞・雑誌）

データベース（CNKI、四庫全書など）を利用したい

アジア情報室の職員に直接相談してみたい



2種類の登録利用者制度

①インターネット限定登録利用者

インターネット経由での遠隔複写（コピー）申し込み

※Web上でその場で登録（本人確認書類提出で②に切替可）

来館予定がないなら、こちらが便利

②個人の登録利用者

国立国会図書館内での書庫資料の利用

インターネット経由でのコピー申し込み

※来館又は郵送で本人確認書類等を提出して登録



インターネット限定登録利用者になるには

「NDLオンライン」の画面から登録できます。
「NDLオンライン」で検索するか、国立国会図書館
ウェブサイトからアクセスしてください。



インターネット限定登録利用者になるには



インターネット限定登録利用者になるには

インターネット限定利用者登録

1. メールアドレスの入力 2. 3. 利用者情報の入力 4. 申請内容の確認 5. 申請完了

(必須) メールアドレス

メールアドレスを入力

○ ご登録のメールアドレスに確認メールを送信します。
確認メールには利用者登録用のURLが記載されています。そのURLから利用者情報の入力画面に進み、24時間以内に登録を完了してください。

注意事項に同意する。

キャンセル

利用者情報を入力

インターネット限定利用者登録

1. メールアドレスの入力 2. 3. 利用者情報の入力 4. 申請内容の確認 5. 申請完了

(必須) 氏名

氏名(カナ)

(必須) 生年月日 1900 年 月 日

郵便番号

(必須) 住所

(必須) 電話番号



まとめと復習

- ・ 遠隔・来館で何ができるかを知る
- ・ インターネット限定登録利用者になる



アジアに関する調査・研究の相談は、

 0774-98-1390 アジア情報室直通

または

お近くの図書館へ

②につづく

